

事業活動実績報告書

施設名	あすなろ幼稚園
教育理念	「さがそうよ、キラキラのじぶん」主体性・共生性・体力を育む
1 事業名	様々なスポーツをプロの指導で楽しもう
2 実施期間	令和 7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

3	取組概要	（取組日） 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・隔週に一度、パパイヤ鈴木ダンスクラブ（セイハネットワーク）からの外部講師2人によるヒップホップをクラス単位で全学年体験する。満三歳クラスは1回15分、年少クラスは1回20分、年中クラスは1回30分、年長クラスは35分	
		（取組日） 令和7年5月26日 ～ 令和7年6月3日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・5/26年少、5/29年長、6/3年中で保育参加行事として、親子で通常の外部講師2人によるヒップホップカリキュラムをクラスごとに体験する	
		（取組日） 令和7年12月2日 ～ 令和7年12月9日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・12/2・12/9に隔週で体験してきたヒップホップカリキュラムの年間の集大成としてヒップホップ発表会を縦割りで開催し園のホールに保護者を招待して舞台の上でクラスごとのヒップホップを発表する。その際は出演する園児も、観覧する保護者も自分のクラスカラーを身に付けてきてよいというルールを設け、最後は外部講師4人のダンスを鑑賞して盛り上がる	
		（取組日） 令和7年11月10日 ～ 令和7年11月20日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・11月10日(年長)・11月11日(年中)・11月18日(年少)11月20日(満三歳・年長)の学年ごとにFC東京より指導者と選手を招き、プロのサッカー選手による実演と指導を体験する。当園グラウンドで行い、その様子を保護者の方に見学して頂く	
		（取組日） 令和8年1月27日 ～ 令和8年1月27日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・卒園児である現役幕内力士（飛猿関・剣翔関・大翔若関）を招き、四股の実演や力士との相撲、力士との綱引きなど全学年、クラスごとに体験する。年長のみ、その様子を保護者の方に見学して頂く	

効果検証報告書（継続事業用）

施 設 名	あすなろ幼稚園				
教 育 理 念	「さがそうよ、キラキラのじぶん」主体性・共生性・体力を育む				

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康 ◎	人間関係 ○	環境 ○	言葉	表現 ○
1 事業名	様々なスポーツをプロの指導で楽しもう				
2 事業概要	・外部講師によるヒップホップを体験する。3学期にはヒップホップ発表会を開催し、クラスごとに舞台上で保護者にご披露する ・FC東京より指導者と選手を招き、プロのサッカー選手による実演と指導を体験する ・卒園児である現役幕内力士（飛猿関・剣翔関）を招き、四股の実演や力士との相撲、力士との綱引きなど体験する				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	全学年、全クラス(クラス名:)			228 名	
計画時	4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 ・パパイヤ鈴木主催のヒップホップスクールより毎週講師を2名招く 1学期の保育参加にて、親子で通常のヒップホップを体験して頂く。3学期のヒップホップ発表会では4名のプロダンサーを招き、子ども達の発表と共にプロのダンスも鑑賞する ・FC東京より指導者と選手を招く。プロならではの技を目の当たりにしたり、プロの指導を受ける ・現役幕内力士2人とその付き人力士2名を招く			
	事業後	事業実績から推測される効果や改善点等 ・単に保育のなかにヒップホップの時間を組み込むだけでなく、保育参加やミニ発表会を通し保護者も巻き込むことで、ご家族丸ごと楽しめる効果があった。 ・ミニ発表会ではクラスの発表ごとにそのクラスの保護者が客席の最前列に移動することを繰り返すことで、子ども達が自分の保護者の目の前で踊ることができ、緊張を楽しむ姿が見られた。 ・FC東京より指導者と選手を招いての直接指導を全学年、保護者見学ありで開催し、特に年長保護者にはミニゲームも参加して頂くことで、子ども達にとってもより身近に感じられ、家での話題ともなった。 ・相撲大会でも保護者の見学を受け入れ、力士と関わるクラスごとに、保護者も最前列へと移動して頂いた。子ども達にとっても自分の保護者の応援の声を聞いてさらに力士に意欲的に挑む姿が見られた。			
計画時	5 事業のねらい	様々なスポーツのプロの実技を目の当たりにしたり、関わりから人間性に触れたり、直接指導を受けることでそれぞれのスポーツの持つ魅力に気づき、体を動かすことの楽しさや、好きなことを仕事にしているプロの考え方や知る。			
	事業後	事業実績から推測される効果や改善点等 プロスポーツ選手等、自分の好きなことでプロとして活躍されている方々に子ども達が実際に関わることで、その熱量を肌で感じる体験は「全力で生きる」実体験として一人一人に大きなポジティブな影響があったと思う。またこうした取り組みを全学年で行うことで、力士への恐怖よりも興味や好意が育まれていることを感じる。「家族で東京場所は必ず観戦に行くようになった」という話や場所中は園全体で来園した力士の勝敗を話題にするなど、両力士のおかげで相撲の世界はあすなろの子ども達にとって本当に身近になっていると感じている。また今年はヒップホップ発表会で「緊張した」という声を多く聞き、舞台上上がって自分を表現することの喜びと共に独特の緊張感も味わっていたことが非常に収穫だったと感じた。さらにサッカー指導ではミニゲームを保護者の方も交えてすることで試合の面白さを親子ともに感じられる機会になったと思う。			

計
画
時

6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等	
	・ヒップホップ講師は隔週火曜日、年間22回あすなろホールにて体験する。 6月3日に保育参加行事として、親子で通常の外部講師2人によるヒップホップカリキュラムをクラスごとに体験する 2学期にはヒップホップ発表会は12月2日と12月9日に開催。 ・11月11日17日20日26日FC東京より指導者と選手によるサッカー体験会を開催。クラスごとにグラウンドにて直接指導を受け、模擬ゲームも体験する。 ・1月27日現役幕内力士（飛猿関・剣翔関）を招き、四股の実演や力士との相撲、力士との綱引きなど体験する	
	上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点	
	幼稚園教育要領「健康」(2) いろいろな遊びの中で十分に体を動かす←プロスポーツ選手の姿を目の当たりにしたり、直接指導を受けることで普段の遊びのなかでも体を動かしたり、それらのスポーツに取り組む機会を増やす 幼稚園教育要領「健康」(3) 進んで戸外で遊ぶ←この機会をきっかけにサッカーをもっと上達したいという想いを他の球技にも活かし、戸外で行うサッカーをはじめドッジボール等の球技スポーツも楽しむ 幼稚園教育要領「健康」(4) 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む←自分たちの遊びのバリエーションを広げ、ヒップホップやサッカー、お相撲等に日常の園生活でも慣れ親しむ	

事
業
後

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等
	・ヒップホップ発表会をより見やすくするために、発表するクラスごとに該当クラスの保護者の方を最前列に移動して頂いた。 ・サッカー体験会を保護者の観戦だけでなく、実際に一緒にミニゲームに参加して頂いた。 ・天気に関わらず、相撲大会をホールで開催することにした。

計
画
時

7 環境構成例	・ヒップホップを楽しむために、日常の園生活から振り付け等を積極的に取り入れる。 発表会を楽しむために、事前に保護者にご協力頂き、園児も応援に来園する 保護者も担任も当日は身につけるものにクラスカラーを取り入れて雰囲気盛り上げる。 ・FC東京の選手を迎えるべくグラウンド・控室等を整備しておく 子どもたちには事前に紹介DVD等を見せ、気持ちを盛り上げる ・力士が素肌で寒くないよう、ホールの床暖をマックスで迎えた。
---------	---

事
業
後

7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等
	・ヒップホップ発表会を経験することで子ども達は人前で踊る楽しさを経験として実感し、その後も自主的に自分たちのステージごととして遊ぶ姿が見られるようになった。 ・ヒップホップ発表会では保護者の方の応援する気持ちを阻みたくない思いで応援のやり方に特に制約を設けていなかった。そのことで、年長の保護者の方のなかで有志の方々がお子様の巨大応援ウチワを作ってきて応援する、という姿があった。該当の子ども達は非常に喜んでテンションを挙げて取り組んでいたが、ウチワの応援をされない他の子ども達にとっては辛い経験になってしまったかもしれない。園としても予想外のことで、この是非について迷いながらも受け入れた形になってしまったが、他の保護者や子ども達は不快に感じたかもしれない。今後もあまり制約は設けたくないが、応援ウチワでの応援は検討しなければならない。

計画時	8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ・踊ることで自己表現が出来ることを体で分かっているということは卒園後の自己表現、自己実現において大きな武器になる。 ・プロサッカー選手との出会いをきっかけにサッカーが好きになり、クラブチームに入ったり、体を積極的に動かすようになっている。 ・今、来園している飛猿閣・剣翔閣も在園中の「力士と遊ぼう」で現役力士と出会ったことがきっかけと聞いている。 ・相撲に興味を持ち、場所中は家族で毎日一喜一憂して応援したり、東京場所に応援に行くようになったりした家庭も多い。
	事業後 8についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・卒業後もダンスを続ける子が多く、また小学校のダンス強化において苦手意識なく取り組んでいるとの話を伺う機会が多い ・将来の夢にサッカー選手を選ぶ子も多く、非常に本活動の効果・影響を実感する ・相撲に興味を持ち、東京場所の度に家族で観に行く話を多く伺ったり、場所中の来園した力士の成績を子ども達同士で話題にしている
	9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ・普段、テレビやネットを通してしか縁のないプロスポーツ選手たちに実際に会い、指導を受け、一緒にそのスポーツを体験するという活動は、その影響の大きさや日常生活での興味の大きさから幼少期の子ども達にとってかけがえのない機会になっていると感じた。今後とも縁を最大限に生かし、出来るだけたくさんの生の体験を子ども達に提供していくことが当園の一つの役割だと考えている。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。